

実用技術英語（電子情報工学系） (Practical English for Electronics and Information Engineering)		1年・後期・2単位・選択 電子情報工学専攻・担当 平井 誠	
〔準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標〕	〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕 D-1 (80%), C-2(20%)	〔JABEE 基準〕 (d-2a), (f)	
〔講義の目的〕 国際化の潮流のもとで、研究者・技術者間の英語コミュニケーション能力は実用上必須である。本講義では技術英語(Technical English)とは何かを解説し、英技術論文の読解・作成演習・添削を通じて、技術英語の勉強法を習得する。			
〔講義の概要〕 Technical Writing は「技術情報を（技術者である）読者にわかりやすく書き表す」技術であり、技術論文の作成、プレゼンテーションや技術討議の基本です。これを習得するため、最新の IEEE Spectrum の記事を精読および多読し、基本事項を解説します。後半は受講者各自の研究内容紹介を英文で作成し添削を行います。			
〔履修上の留意点〕 本講義は技術英語の勉強法を習得するもので、受講生は継続的な自己学習が不可欠です。			
〔到達目標〕 1) 自分の特別研究に関する専門用語を正確に習得する。 2) 電子情報分野に共通する基本単語と基本的表現法をできるだけ習得する。 3) 技術英語力獲得のための学習方法を習得する。			
〔評価方法〕 授業中に実施する中間試験 (50%)と期末試験(50%)成績で評価する。			
〔教科書〕 〔補助教材・参考書〕「ネイティブに通じる英文技術文書の書き方」 上田秀樹 工業調査会 2006 年			
〔関連科目〕			

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1週	ガイダンス	各国の専門家同士が正確に技術情報を交換し議論するための技術であることを実例で説明。シラバス説明。受講者レベル把握のため小テスト1実施。	
第2週	英論文の読解1	小テスト1講評。専門単語力に関する小テスト2。特別研究に適した代表的英論文を指導教官から推薦。技術英語は専門用語と硬い表現を使用することを理解する。	
第3週	英論文の読解2	受講者の分野の専門用語をそれぞれ20個以上紹介し、順番に解説する。各分野に共通する基本的な動詞30-60語を復習。	
第4週	英論文の読解3	英論文中の文章から代表的な単語、動詞、修飾語、文型を学ぶ。基本動詞・形容詞・副詞30-60語の復習。	
第5週	英論文の読解4	論文におけるIntroductionの役割の説明と、技術背景に関する表現を学ぶ。電子情報分野の基本単語(-100語)の復習。	
第6週	英論文の読解5	各人の特別研究に関連した英論文のIntroductionの第一パラグラフを順番に発表し、表現内容を討議する。(1)	
第7週	英論文の読解6	同上(2)(中間試験予定)	
第8週	英論文作成の考え方	試験講評。日本語から独自の英作文をしないこと。良い英論文を見本として、自分が表現したい表現方法を探し出すこと。	
第9週	英論文の作成演習1	受講者全員が自分の特別研究内容を2-3文で紹介する(背景・必要性、研究内容)。良い英文表現を理解し真似する。	
第10週	英論文の作成演習2	受講者の特別研究内容を10-15文程度の小論文形式で作成し添削する。内容が多い場合には、内容の区切りと表現する順序、バランスが重要であることを演習で学ぶ。(1)	
第11週	英論文の作成演習3	同上(2)	
第12週	英論文の作成演習4	同上(3)	
第13週	英論文の作成演習5	同上(4)	
第14週	英論文の作成演習6	同上(5)(期末試験予定)	
第15週	技術英語の勉強法	試験講評。これまでの小論文の作成と口頭発表・討議を通じて、各人の技術英語の今後の勉強方法を把握する。	
添削修正後のレポート提出および試験評価は講義の第15週目を実施する。			

* 4：完全に理解した， 3：ほぼ理解した， 2：やや理解できた， 1：ほとんど理解できなかった， 0：まったく理解できなかった。
 (達成) (達成) (達成) (達成) (達成)